

☆☆



山都町立潤徳小学校 学校だより

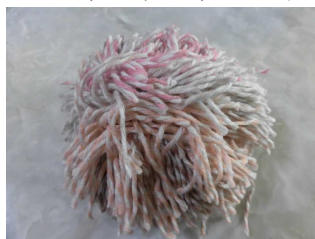
# 狭霧 (さぎり) の朝

令和4年6月17日(金) 第18号  
校長 池部 聖吾智 (みわたも)

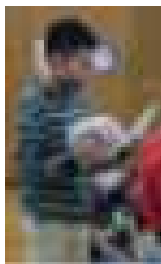
☆☆

## 全校道徳「世のため・人のために」 6.16(木)3校時 体育館

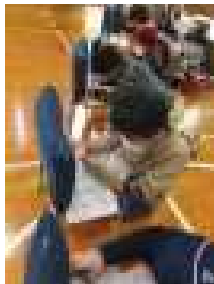
この授業を実施した目的等については、本校HPに掲載しておりますのでご覧ください。ここでは、授業の概要を紹介します。授業を実施するにあたり、児童全員に「コミュニティボール」づくりに携わっていただきました(左下図)。毛糸を巻いて固定し、ハサミを入れて完成



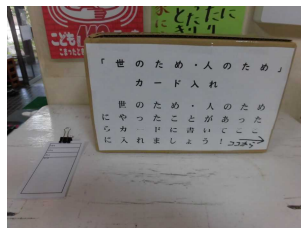
です(左図)。このボールは触り心地がよく、安心する効果があります。ボールを持った人だけが発言できる(左下図)こと、発言者が次の発言者を指名するなど約束事を確認しました(右下図)。



まず「他の動物にできなくて人間だけができること」は何かを考えさせました。子どもたちからは「いただきますを言う」「車の運転をする」などが出されました。この授業では、「(人間は)直接自分のトクにならないことでもできる」ということから話を進めていきました。



次に8名(架空児童)のやった行為を提示し、「この中で、よりよい行為をした人はだれか?その理由も言いなさい」と問いました。子どもたちからは、「自分のものでもないのにした(倒れた自転車を立てる・友だちの鉛筆を拾う)」「知らない人にした」などが出されました。



まとめでは、みんな今まで1つくらいは世のため・人のためにしたことがあるはず。全員に1枚書いて出すことを指示して授業を終えました。早速、「世のため・人のために」コーナーを設置し、これからやった「良い行い」をガンガン掲示していきます!(右図)

### 潤徳抄

全校道徳の授業直後の職員室の会話から。養護教諭の増田先生から「授業の中に出てきた(良い行為をした8名の)児童の名前はどこから出てきているんですか」と聞かれた▼私は「授業の中身でなく、そこにこだわる?(笑)」と思った。さらに、まるこ・サザエはわかるとして、「ななみ・もえ・ゆか」は昔の彼女とかですか?と聞かれた。残念ながら彼女では無い。今まで関わった生徒の名前にある。本校児童の名前は使わないように心がけた▼ここで話題になったのが「あせい」。私は漫才師のミキ(弟の名前)から取ったのだが、昭和世代のお三方(笑笑)は口をそろえて「小林亜星」だと思ったそうだ▼5・6年の副担任の山本先生はミキを思い浮かべたらしい。私も職員の中では高齢の方が、チョッピリ若者気分!(笑)▼授業後、教頭先生に全校道徳授業への率直な感想を聞いたが、「子どもたちもよく意見を聞いて良かったですよ」と言ってくださったので少しホッとした。

